

プロ野球投手が投げ



阪神タイガースから育成ドラフト2位で指名された奥山皓太外野手。静岡市駿河区の静岡大

で、半信半疑のまま静岡大の野球部員や監督とパソコンでインターネット中継を見つめながら指名を待った。中継が始まって2時間40分。育成選手選択会議(育成ドラフト)に入り、ついに名前が呼ばれた。「実感がわかなかつた。ただただ驚いた」

甲府西高出身。3年夏の山梨大会ではエースとして

の役割を果たさなくてはならぬ。いくまで練習していた」と振り返る。

当時からプロへの憧れはあったが、「自分にはほど遠い」と思っていた。志望する国立大の中で、2014年に43年ぶりの全日本大学野球選手権大会出場を果たした静岡大を受験。教育学部に現役合格した。しかし、投手だった1年

「レベルアップ」が現実の憧れ

して活躍した。用具や遠征の費用を賄うため、焼き肉屋で週3〜5日アルバイトをしてきた。勉強も手を抜かなかつた。室内練習場はなく、練習環境は決して良くない。それでも、社会人や独立リーグで活躍する先輩の姿に「ここで活躍できる選手になれる」と刺激を受けた。

甲府西高でも、静岡大でも、初のプロ野球選手となる。阪神タイガースの糸井嘉男外野手のような身体能力を生かした躍動感あふれるプレーがしたい。「厳しい世界だと思う。まずは支配下選手に登録されるようレベルアップしたい」と気を引き締める。

(玉木祥子)

山梨、教諭に髪切られ生徒不登校 元市教育委員の家族 SNSで保護者中傷

山梨市立中学校で、2016年、当時2年生の女子生徒が教諭に髪を切られ、後に不登校になった問題に絡み、当時の市教育委員の家族がSNSに生徒の保護者の中傷するような書き込みをしていたことがわかった。

すでに削除されているが、市教委は今年、市民から画像を入手。SNSの内容を確認した。学校教育課の加々美修課長は「教育委員の立場で知り得た情報が漏れたのかどうか。対応を検討している」と話す。

髪を切られた問題では今年8日、生徒と両親が市に770万円の損害賠償を求めて甲府地裁に提訴。訴状

によると、教諭が校内の廊下で工作ばさみで髪を切ったとし、教諭の行為は適切な指導の範囲を超えているなどと主張している。

SNSには「一学校・先生教育委員会・市へ責任転嫁を行っている」「いじめ、学校事故、不登校などいろいろの言葉を操って問題を大きくしている」と保護者を批判する内容が書かれていた。家族の元市教育委員から、書き込んだ情報について直接聞いたと解釈できる表現もあった。

保護者が髪を切るよう先生に依頼したという記述もあり、女子生徒の母親は「娘の髪を切るよう学校側に依頼した事実はない。学

校側の主張を鵜呑みにし、教育委員の守秘義務に違反している」と訴える。

書き込んだ元市教育委員の家族は朝日新聞の取材に、SNSに投稿したのは1年以上前で、その日のうち

ちに削除したと説明。「(元市教育委員の)家族からなんとなくは聞いたが、近所のうわさや自分の臆測も含まれている。誤りがある可能性もあり、不適切だった」と話した。(金畑玄洋)

自転車保険の加入義務化へ 県が条例素案、来年議会に提出

県は13日、自転車の利用者に対する損害賠償保険への加入を義務づける条例の最終素案を示した。交通事故の防止や、事故で高額な賠償を求められる事態に備えるのが目的。来年の2月定例会に提出し、来年度からの施行をめざす。

自転車販売店が加盟する団体やアウトドア用品店、PTA団体などでつくる自転車安全適正利用対策検討会議で示した。年内に県民の意見を聴く。

交通政策課によると、条例の対象は県外在住者や外国人も含む。未成年者を除く自転車利用者、子どもの保護者、業務で使う事業者、レンタル事業者に加入を義務づけた。罰則規定は設けない。

販売業者には購入者への加入の有無を確認し、必要件について情報提供する義務を課した。学校長や事業者には通学・通勤者への加入確認と情報提供を努力義務とした。全国初の規定として、幼児用の座席ベルトを用を保護者の努力義務

38 7000 4469 isahi.com

3-0353 2-0227

用は 3-0843 21:00 8-5100

天気 12-16時

0 0 0 0 河口湖 南